

こんにちは

# うみ議会 です

## 新体制スタート

2月15日告示、20日投開票の宇美町長・町議会議員一般選挙において  
新町長と12名の町議会議員が選出されました。  
町執行部と議会は車の両輪に例えられます。  
共に緊張感を保ちながら、スクラムを組んで町政改革を進めます。

20ページに関連記事を掲載

新型コロナウイルス感染症対策を行い撮影しています



**Koe Meter**  
声メーター  
実施中!  
議会広報が聞いたみなさんの声  
2022.3から

リニューアル!  
新たに敢えはじめました!

007

- 議員紹介「普段着でこんにちは」 ②  
3月定例会・4月臨時会 …………… ④  
町政を問う一般質問6人が登壇 ⑩  
議会構成の紹介 …………… ⑰  
インタビュー「新町長に期待すること」 ⑳



2022.5.13  
No. 85  
うみ議会だより  
3月定例会



高橋 紳章のぶあき 一期 厚生文教常任副委員長

皆は一人のために  
一人は皆のためにの  
精神で頑張ります



白水 英至 七期 厚生文教常任委員長

住みよいまちづくりをめざします



藤木 泰 二期 副議長

未来を担う子どもたちのために  
健全で元気な宇美町を創る

# 普段着でこんにちは

## うみまち HOT TOPICS

私たち町議会議員は、町民の皆様へ寄り添いながら、皆様の「声」を町政に届けるために、親しみを持っていただくことが大切だと考えています。

今回は皆様へ気軽に声をかけていただきたいの思いから、私たちの普段着姿を紹介するとともに、「初心忘るべからず」の気持ちを常に持ち続けていくために、それぞれの議員が選挙で訴えた「一番大切にしている言葉」を紹介させていただきます。



安川 禎幸よしゆき 一期 厚生文教常任委員

がんばろう  
宇美町！



平野 龍彦 二期 厚生文教常任委員

即決断・即実行



鳴海 圭矢 四期 厚生文教常任委員

皆さんとともに  
やさしく強い宇美町を

変えよう一意専心で!



入江 政行 二期 総務建設常任副委員長

宇美町のため「一生懸命」



黒川 悟 三期 総務建設常任委員長

一人の声を大切に



古賀 ひろ子 七期 議長

## 4年間の議員活動がスタート

3月8日に開会した3月定例会で、議長に古賀ひろ子議員、副議長に藤木泰議員を選出するとともに、所属委員会や役職などが決まりました。

議員定数も14議席から12議席に削減され、一人ひとりの責務も大きくなりました。

これからの4年間、町民の代表そして奉仕者として、それぞれが掲げた努力目標に向かって積極的に活動していきます。



小林 孝昭 一期 総務建設常任委員

次世代につなぐ  
まちづくり

子どもたちこそ町の宝



丸山 康夫 二期 総務建設常任委員

元気で明るい  
まちづくりをめざします



安川 繁典 二期 総務建設常任委員

# 3月定例会

## 副町長2人体制で 政策を強力に推進

3月定例会は、8日から25日まで8日間の会期で開かれました。

初日には、安川新町長が町政運営について所信表明されました。また、義務的経費を中心に編成された骨格予算となる当初予算をはじめとする28議案が提出され、全て原案のとおり可決しました。

当初予算（一般会計・特別会計）については、特別委員会を設置し、慎重に審議を行いました。

一般質問では、6議員が10項目について質問し、また、委員会発議1件、議員発議1件を可決しました。

### 町民憲章の制定

#### 宇美町町民憲章を制定

議会は、町民憲章の制定にあたり、平成30年12月定例会において、議員発議により町民憲章の制定を要望する決議を行い、町が設置した町民憲章審議会に参加し、協議を行ってきたものである。

町は、町民アンケート、子ども

たちが考えた言葉や文章を取り入れながら、町の発展と町民一人一人の幸せを願い、活力と希望に満ちた町民憲章を定めたものである。

（全員賛成で可決）

### 工事請負契約締結

#### 宇美町立中央公民館及び宇美町住民福祉センター改修工事

各施設は、建築から40年以上が経過しており、今回の改修工事では主に防水・外壁改修工事を実施するものである。

#### ○工事箇所

宇美町立中央公民館及び宇美町住民福祉センター

#### ○請負契約額

1億2045万円

#### ○工事請負人

西村建設株式会社

宇美営業所

#### ○落札率

97.77%

#### ○工期

契約の効力の発生の日から令和4年11月30日

### 問

利用者のことを考えて、工期を短くできないか。

### 答

梅雨時期のため天候に左右され、また室外機を全部取り除いての工事となる。利用者の安全を確保しつつできるだけ工期短縮に努める。

（全員賛成で可決）

ワンヘルスの推進に関する決議

福岡県がすすめる「ワンヘルスの森（福岡県四王寺県民の森）」の利用促進など連携協力することを決議。

提出者 白水 英至議員  
賛成者 高橋 紳章議員  
（全員賛成で可決）

### 条例

宇美町会計年度任用職員の給与の特例に関する条例

保育園で勤務するすべての会計年度任用職員は、国が発出した保育士等の処遇改善臨時特例事業の実施により令和4年度の期末手当を据え置くものである。

（全員賛成で可決）

### 議員発議

ロシア軍によるウクライナへの侵略に強く抗議し、恒久平和を求める決議

提出者 議会運営委員会  
委員長 藤木 泰  
（全員賛成で可決）

### 人事案の同意

#### 宇美町副町長

原田 和幸 氏（新任）  
一木 孝敏 氏（新任）  
（全員賛成で可決）

#### 宇美町監査委員

安川 禎幸 氏（新任）  
（全員賛成で可決）

### 諮問答申（適任）

#### 人権擁護委員候補者の推薦

吉村 龍行 氏  
（全員賛成で可決）

# 4月臨時会

## 新執行部での新しいまちづくりが始動

### 4月臨時会

### 補正予算

※万円未満四捨五入

令和4年度一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ4億5968万円を追加し、予算総額を122億5696万円とする。主な補正は次のとおり。

◇ペーパーレス会議システムの導入

165万円

紙や印刷に係るコストの削減、過去の資料をデータで探すことができるなど、業務の効率化を目的に、ペーパーレス会議システムを有するタブレット端末70台を導入する。

◇議会インターネット配信業務委託

140万円

本会議や条例、予算、決算審査特別委員会の映像をライブ配信や録画配信することで、開かれた議会を目指す。

◇公式LINE情報配信システム導入業務委託及び利用料

212万円

公式LINEを活用して、イベント情報、災害情報、コロナ関連情報など、住民へ情報を配信する。

◇登録制による配信サービスの利用を見込んでいるのか。

答 スマホやパソコンから友達登録し利用してもらう。

スマホ等の利用者のうち、半数の登録を目指す。

◇プレミアム付き地域商品券発行事業補助金

1500万円

町内商工業者の事業継続支援のため、昨年度と同額の総額1億8000万円(プレミアム率20%)とし、町内での購買活動を高める。

◇商品券発行業務に対し、町商工会へのサポート体制を強化できないか。

答 町商工会と協議をしていきたい。

◇今年度交付された、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金1億6000万円のうち、現時点で約4000万円しか予算計上されていない。

残り1億2000万円の使い道および予算計上はどうなっているのか。

答 小売業者や飲食店への経済対策など、スピード感をもって対応すべきであると考えているが、制度設計が間に合わなかった。

6月定例会に追加経済対策を含めた補正予算を計上できるように進めていく。

◇反対討論 鳴海 圭矢議員

本補正予算案では、当初予算が骨格予算であったことに対する肉付け予算であると理解しているが、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の使い道として、一番苦しんでいる小売店や飲食業者への肝心な支援が不十分であるため、反対とする。

◇賛成討論 安川 禎幸議員

本補正予算案では、新町長就任後の肉付け予算で、JR宇美駅前広場の利用を促進するための整備工事請負費や、プレミアム付き地域商品券発行事業補助金、災害時の情報発信にも活用できる公式LINE情報配信システムの構築経費、共働事業提案制度補助金の増額など、新たに町の活力を生み出すための重要な予算が計上されているため、賛成とする。

(賛成多数で可決)

### 財産の取得

令和5年2月からオンデマンドバスを導入するための車両を購入。

取得財産 4台(定員10名)

契約金額 2660万円

契約相手 西鉄エムニテック(株)  
(全員賛成で可決)

当初予算審査  
特別委員会  
委員長 黒川 悟議員

# 令和4年度予算を 徹底審査

当初予算審査については、議長を除く議員全員による当初予算審査特別委員会を設置し、活発な質疑を行いました。主な質疑を要約してお知らせします。

## 一般会計

**問** オンデマンドバスの導入時期は。

**答** 現在、福祉バスハピネス号から町全域をカバーするためにオンデマンドバスへの移行を計画中で、令和5年2月から実証運行を開始し、2月、3月はハピネス号との併用運行を実施予定。その後、4月以降に切り替える計画。

**問** 町の広報誌の印刷製本費が昨年度より増額しているがその経緯は。

**答** 業者と長期継続契約5年の単価契約で行つ

ている。

また、近年の世帯数の増加に伴い毎年約100部ぐらいは増冊している。

**問** 町民憲章モニタメント作成業務委託事業について、どこに設置するのか。

**答** 現在、検討中である。



町民憲章パンフレット

**問** ふるさと納税寄附金事業の目標金額が前年度を下回っている要因は。また、目標を達成するための方策は。

**答** 福岡県産あまおうの競争が自治体間で激化してきた影響が大きい。

新たな取組は関東地方での電車内広告や寄附金の活用事例の紹介、ダイレクトメールの発送等を行っていく。

**問** 「河原のしずく」の水をふるさと納税の返礼品にしては。

**答** 今後、検討していく。

**問** 町立保育園の民営化の進捗状況および待機児童の現状は。

**答** 町立保育園の民営化は令和2年4月に貴船保育園、令和4年4月からは柳原保育園が「柳原ぶらす保育園」になる。町立の早見保育園、原田保育園は残る。

待機児童の状況は令和2年度当初26名、令和3年度当初40名、令和4年度では町立保育園の民営化も進み解消でき

る見込み。

**問** 一本松公園やその他の公園の整備管理体制はどのように行われているのか。

**答** 一本松公園については、トイレの整備も終わり、巡視および清掃業務等は民間業者に委託している。また、バンガローはかなり老朽化しているため活用方法を検討中。

その外、町内には94か所の公園・広場があるが、利用者が少ないのが現状である。今後は現在ある資源を有効活用しながら魅力ある公園造りを目指す。

### 賛成討論

鳴海 圭矢議員

本予算案は経常的な経費が基本であり、情報システム共同化事業におけるシステム改修業務委託料の計上など、骨格予算であることを踏まえて賛成とする。

(全員賛成で)

可決すべきものと決定)

# 特別会計

## 後期高齢者医療会計

**問** コロナ禍による収納率への影響はないか。また収納体制はどうなっているのか。

**答** 1月末の収納率79・94%、前年同月で79・99%で微減となっているが、コロナの影響は見受けられない。収納業務は財政課で担当し、民間委託による4人体制となっている。

**問** 後期高齢者医療の対象被保険者数は。

**答** 令和4年1月末で4489人。

**問** 県内で一番高い一人当たりの医療費対策は。

**答** 生活習慣病の発症予防と重症化予防が大切。健診やコミュニティでの

介護予防教室やスロージョギングを実施して生活習慣病予防の拡充を図りたい。

**反対討論** 鳴海 圭矢議員

後期高齢者医療制度は長生きするほど経済的な負担が重くなるという悪制であるため反対とする。

(賛成多数で)

可決すべきものと決定

## 国民健康保険会計

**問** 令和4年度の特定健診受診率の目標は。

**答** 令和2、3年度はコロナ禍で低下したが、令和4年度は39・1%を目標としている。

**問** 国保の資格証、短期証の発行状況は。

**答** 資格証はコロナ禍により令和2、3年度は発行していない。短期証は令和2年度は432件、令和3年度は現時点で460件となっている。

**問** 他町と比べて保険税が高いと言われる。一般会計からの繰り入れを増額して保険税を下げられないか。

**答** 保険税を下げる目的での一般会計からの繰り入れは国の指針に反する。町としても考えていない。

**問** 特別交付金・保険者努力支援分の増額の理由は。

**答** 収納率の向上、医療費の取組等に対して交付されるもので、当町の取組が評価され増額となった。被保険者一人あたりの交付額は県6市町村のうち13位。

**反対討論** 鳴海 圭矢議員

国保税は生活に重い負担となっており、町独自の引き下げを要求して反対とする。

**賛成討論** 安川 禎幸議員

職員の努力により安定した事業運営を行っており、細部に配慮された予算措置がなされているため賛成とする。

(賛成多数で)

可決すべきものと決定

## 上水道事業会計

**問** 水道料金が高いのは福岡地区水道企業団(以下「企業団」という)からの受水量が多いのが原因。企業団と交渉できないか。

**答** 一水道事業体のみでは交渉が難しいため、今後は福岡地区全体で考えていきたい。

**問** 浄水場の業務委託は水道事業の民営化につながるのではないか。

**答** 浄水場の業務委託は職員の退職による一時的なもの。現時点で水道運営に関する民営化は考えていない。

**問** これまで最も多く他の自治体に水を融通した際の自己水源率は。

**答** 令和元年で、自己水源率は36%だった。

**反対討論** 入江 政行議員

水道料金の引き下げのため今後の企業団との交渉を要望して反対とする。

(賛成多数で)

可決すべきものと決定

## 下水道事業会計

**問** 工事発注時期は早ければ請負率が下がっていく。発注時期の考え方は。

**答** なるべく早い時期に発注して年度末には終わらせたいと考えている。

**問** 宇美東小学校前の下水道整備が遅れている原因は。

**答** 地形、河川等の関係で検討が必要なため。工事の時期は現在のところ未定。

**問** 本年度の下水道普及率の目標は。

**答** 本年度は繰越工事があり数字は出ないが、令和2年度においては88・2%となっている。

(全員賛成で)

可決すべきものと決定

# 令和4年度予算の概要

一般会計予算 (単位: 万円未満四捨五入)			前年度からの増減
自主財源 39.5%	町 税	36 億 7081 万円	1 億 4393 万円
	そ の 他	11 億 7480 万円	▲ 1 億 1744 万円
	合 計	48 億 4561 万円	2649 万円
依存財源 60.5%	地方交付税	25 億 7364 万円	4405 万円
	国県支出金	32 億 5346 万円	3 億 7980 万円
	町 債	5 億 6110 万円	▲ 1 億 4920 万円
	そ の 他	10 億 2315 万円	8250 万円
	合 計	74 億 1135 万円	3 億 5715 万円
歳入合計		122 億 5696 万円	3 億 8364 万円

令和4年度の一般会計当初予算は、義務的経費を中心に骨格予算として編成され、政策的経費や新規事業は肉付予算として、3月定例会（補正予算第1号）および4月21日開催の第2回臨時会（補正予算第2号）で追加議決され、総額122億5696万円。前年度と比較すると3億8364万円増額となっています。

また、議会が目じた主な予算の使い道として、住民にとって関心があると思われる事業をクローズアップしています。

特別会計予算 (単位: 万円未満四捨五入)			
会 計 名		予 算 額	前年度からの増減
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計		5 億 705 万円	2956 万円
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計		39 億 5644 万円	6380 万円
上 水 道 事 業 会 計	収益的支出	7 億 8253 万円	2817 万円
	資本的支出	3 億 7291 万円	8548 万円
流域関連公共下水道事業 会 計	収益的支出	8 億 7806 万円	▲ 1624 万円
	資本的支出	8 億 8315 万円	4665 万円

## ～議会が目じた主な予算の使い道～ (単位: 万円未満四捨五入)



天井設置型の Wi-fi 機器

### 地域コミュニティ支援事業費 【予算:600万円】

地域コミュニティのデジタル化促進を図るために小学校区コミュニティ事務所および自治会公民館のWi-Fi環境の整備を支援するための経費です。



### オンデマンドバス運行事業費 【予算:6257万円】

令和5年2月から実証運行を予定しているオンデマンドバスの運行のための経費です。(写真は宗像市日の里団地で運行されているオンデマンドバス「のるーと」)

審議した議案と各議員の賛否

	小林孝昭	安川禎幸	高橋紳章	丸山康夫	平野龍彦	安川繁典	入江政行	黒川悟	鳴海圭矢	白水英至	藤木泰	審議結果	討 論
令和4年度 宇美町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	可決	反対：鳴海 賛成：安川（禎）
令和4年度 宇美町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	可決	反対：鳴海 賛成：安川（禎）
令和4年度 宇美町上水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	可決	反対：鳴海 賛成：黒川
宇美町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	可決	
宇美町一般職の任期付職員の採用に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	可決	
宇美町特別職の職員で常勤のもの給与等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	可決	
宇美町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	可決	

※古賀ひろ子議長に表決権はありません

全会一致で同意・答申・可決した議案

議 案 名	
宇美町監査委員の選任	(議選) 安川 禎幸氏
人権擁護委員候補者の推薦	吉村 龍行氏
宇美町町民憲章を制定	
町道路線の認定	岩長浦1号線の新規認定(井野地区)
工事請負契約の締結	令和3年度宇美町立中央公民館及び宇美町住民福祉センター改修工事
宇美町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	未就学児に係る均等割保険税の5割を公費により軽減
宇美町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	①非常勤職員の育児休業・部分休業の取得要件の緩和(在職期間に関する要件の廃止) ②育児休業を取得しやすい勤務環境の整備
令和3年度 宇美町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	700万9千円減額し、計4億7047万9千円
令和3年度 宇美町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	5315万8千円増額し、計41億7878万4千円
令和3年度 宇美町上水道事業会計補正予算(第4号)	収益的収入329万1千円増額し、計7億9814万8千円 収益的支出1307万1千円減額し、計7億5201万円 資本的収入206万3千円減額し、計5930万4千円 資本的支出200万円減額し、計2億8542万9千円
令和3年度 宇美町流域関連公共下水道事業会計補正予算(第2号)	収益的収入125万円増額し、計9億7129万4千円 収益的支出38万円減額し、計9億306万5千円 資本的収入739万3千円減額し、計5億5371万2千円 資本的支出515万5千円減額し、計8億3138万3千円
令和3年度 宇美町一般会計補正予算(第11号)	1408万5千円減額し、計152億7488万7千円
令和4年度 宇美町流域関連公共下水道事業会計予算	収益的収入9億2619万7千円 収益的支出8億7806万4千円 資本的収入5億7322万円 資本的支出8億8314万8千円
令和4年度 宇美町一般会計予算	予算総額117億1871万1千円 (賛成討論：鳴海議員)
宇美町会計年度任用職員の給与の特例に関する条例	保育士等の処遇改善 (期末手当の減額は行わない)
宇美町副町長定数条例の一部を改正する条例	副町長2人体制へ
令和4年度 宇美町一般会計補正予算(第1号)	7856万7千円増額し、計117億9727万8千円
宇美町副町長の選任(同意第2号)	原田 和幸氏
宇美町副町長の選任(同意第3号)	一木 孝敏氏
(発議) ロシア軍によるウクライナへの侵略に強く抗議し、恒久平和を求める決議	
(発議) ワンヘルスの推進に関する決議	

# 一般質問 町政を問う6人が登壇！

**丸山 康夫** 議員 ————— 11P

- ◆新町長に問う  
～宇美町を変えるために  
何にどう取り組むのか～

**入江 政行** 議員 ————— 12P

- ◆インボイス導入による  
小規模事業者への影響は
- ◆新町長に今後の  
町政への取組を問う

**鳴海 圭矢** 議員 ————— 13P

- ◆水道料金の引き下げを
- ◆土砂崩れ等自然災害への対応は
- ◆投票率の低下にどう取り組むのか

**黒川 悟** 議員 ————— 14P

- ◆次の100年に向けた  
活力あるまちづくりの現実を
- ◆公共施設のトイレおよび  
学校トイレの洋式化の現状は

**安川 禎幸** 議員 ————— 15P

- ◆原田小学校、宇美南中学校に  
係る「小中一貫校」の提案

**高橋 紳章** 議員 ————— 16P

- ◆新リーダーとしての  
町長の意見を伺いたい

一般質問とは定例会で行われ、議員が町政全般について、町長などの執行機関の考え方や方針などを問いたすことです。

## 宇美公園の桜のトンネル

宇美公園へ向かう道路には両側に桜並木があり、見事な桜のトンネルができていました。



丸山 康夫 議員

# 新町長に問う

## ～宇美町を変えるために 何にどう取り組むのか～

### 答 役場の組織体制を早急に見直し対処する

**問** 安川新町長が掲げている政策を具体的に進めていくための方策を問いたい。

若い子育て世帯の流入促進に向けて、児童生徒の学力を向上させていくための具体的な政策は。

**答** 学校教育課長

学校教育課内や各学校の学力向上コーディネーターを中心に、テスト結果を基に分析を行うとともに、授業の改善を進め、学力の向上に努めていきたい。

**問** 令和3年3月に宇美町スポーツ振興計画が策定された。

今後、部活動改革も進めていく必要があるが、具体的な政策は。

**答** 学校教育課長

部活動が教職員の大きな負担になっていることから、休日の部活動を地域に移行していくことや外部指導者の導入により教職員の負担を減らしていきたい。

**問** 待機児童ゼロを継続していくための具体的な政策は。

**答** こどもみらい課長

今後、貴船保育園と柳原ぶらす保育園の建て替えが予定されており、現定員以上の受け入れができるよう面積を確保し、弾力的な受け入れができるよう協議を進める。

また、町立保育園の保育士を確保するために、

大学や専門学校への新人保育士募集の強化をはじめ、潜在保育士を確保するためにハローワークや広報・SNS等による求人募集に力を入れていきたい。

また、保育士の処遇改善を進めており、働きやすい職場環境の構築にも努めていく。

**問** 子どもを産み育てやすい町「うみ」の実現に向けての具体策は。

**答** 町長 次代を担う

子どもたちの教育が他の自治体に遅れを取っては

いけない。教育費はしっかり確保しなければならないと考えている。

**問** 子どもたちの熱中症対策とともに、災害時の避難所に指定されている小学校体育館にエアコン整備が必要ではないか。

**答** 学校教育課長

学校体育館へのエアコン設置はまだ検討していないが、体育館は災害時の避難所にも指定されており、エアコンやそれに類する設備を整備することも検討、調査研究を進める。

**問** 当町の道路事情は10年前とほとんど変わっていない。

道路整備を進める政策は、町長のビジョン

でも重要な部分だと思

うが、具体的な政策は。

**答** 町長 当町は博多

駅や福岡空港、太宰府インターからも近いが、交通渋滞により地の利を



整備が完了した宇美西口交差点

生かし切れていない。渋滞の解消に向けて、道路整備を進めることが大切だ。

職員だけでなく、私自身が県知事や県議会議員等に働きかけることも大切だと考える。

スマートインターチェンジの設置についても、実現に向けて全力でチャレンジしたい。

役場の組織体制を早急に見直し、課題解決への道筋を示したい。



入江 政行 議員

# インボイス導入による 小規模事業者への影響は

**答** 事業者に対する影響は  
ゼロではない

**問** 2023年10月から「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」が導入される予定。

基準期間の課税売上高が1000万円以下であれば消費税の納税は免除されているが、インボイス制度の登録事業者になれば、売上高に関わらず納税義務が発生する。

**答** インボイスの導入により、免税事業者との取引がなされないことが発生し、個人タクシー、一人親方、フリーランス等の事業者に多大な影響を及ぼすが、対策は考えているか。

**答** まちづくり課長  
インボイスの導入により、事業者に対する影響はゼロではないと思っ

る。制度導入に伴い、インボイスの発行に係る事務負担が増えるのではないかと。また、免税事業者が取引から排除されるのではないかと懸念の声もある。

インボイスの導入までに4年間の準備期間を設け、経過措置や、みなし税率を適用できる簡易課税制度が設けられている。

事業者の皆様は、制度を理解していただき、取引先との調整検討の上、登録を受けるか否かの判断をしていただく必要がある。

**問** 当町の経済、社会の支えとなってきた小規模事業者が、インボイス導入の影響により経営が立ち行かなくなり減少し、経済の疲弊に繋がることが対策は。

**答** まちづくり課長  
現段階において、インボイスの導入により町内の経済や事業者の方々にどの程度影響を及ぼすかというのは未知数であり、事業者はこの制度を理解していただくことが必要である。

制度周知を図るとともに、税務署等の相談窓口を案内していくように

考えている。

**問** 全国的にインボイスの導入に中止の声が広がってきている。

町村長会において、他の自治体に呼びかけて、中止する旨の要望書・意見書を提出してはどうか。

**答** 町長 事業者はこの制度を理解していただくことが重要だと考える。

町内での影響、他市町村での動向等を確認して対応していく。

.....  
**新町長に今後の町政への取組を問う。**

**問** 当町は、人口減少、高齢化が進んでいると言われている。

町民の方々から、たくさん意見や要望が

でているが、どう取り組むのか。

**答** 町長 今議会で、新しいまちづくりとして、5つのビジョンを掲げている。課題解決に向け可能性を探りながら、スピード感をもって取り組んでいく。

インボイス制度とは  
適格請求書保存方式のことで、所定の記載要件を満たした、請求書等が適格請求書（インボイス）となり、インボイスの発行または保存により消費税の仕入税額控除を受けることが可能となる。  
消費税の課税業者であり、適格請求書事業者に登録した事業者がインボイスを発行できる。



# 水道料金の引き下げを

## 答 福岡地区全体の見直しが必要



鳴海 圭矢 議員

**問** 宇美町の水道料金は近隣の自治体と比較しても非常に高い。その理由は。

**答** 上下水道課長  
福岡地区水道企業団（以下「企業団」という）からの供給水量の問題もあるが、上水道管路延長が郡内でも一番長いことや浄水場、配水池の施設更新や修繕等の維持管理に多額の費用を要することも要因の一つと考える。

**問** 自己水源を活用しながら、企業団との契約を今の実態に則した形に見直すべきではないか。

**答** 上下水道課長  
自己水源は今後改修すべきものや水質、水量に問題があり使用を控えている箇所もあることから、企業団からの受水分と自己水源を調整しながら運営していく必要がある。  
協定内容の見直しについては要望・協議を

行ってきた経緯もあるが一水道事業体のみでは難しく、福岡地区全体の見直しが必要。

**問** 上水道特別会計で出た利益は町民に還元するべきでは。

**答** 上下水道課長  
将来にわたる健全な運営に内部留保の確保は必要であり利益が出ているから即還元できるものではない。

**問** 一般会計からの繰り入れも視野に水道料金の引き下げを検討するべきでは。

**答** 上下水道課長  
地方公営企業の規定により一般会計から繰り入れできる経費として、料金引き下げのための繰り入れは該当しないと判断している。

土砂崩れ等自然災害への対応は。

**問** ひばりが丘の土砂崩れについて町からの説明がない、情報が遅い等の強い不満があった。改善するべきではないか。

**答** 都市整備課長  
不確定な情報は発信できないと消極的な姿勢になり、その点は十分反省している。今後は延期していた住民説明会を行うとともに、定期的に復旧工事の進捗を発信していきたい。

**問** 今後、梅雨の時期に入るが被害の拡大する危険性はないか。対策は。

**答** 都市整備課長  
地下水対策として横ボーリングを7本既に設置している。  
今後の梅雨に備えて可能な限り横ボーリングを設置していく。  
道路のり面の動態観測業務を業者に委託して水位の変化を注視していく。

**問** ひばりが丘1丁目にある道を道路が塞がれた場合等、緊急時に開放できないか。

**答** 都市整備課長  
ひばりが丘1丁目と桜丘4丁目を接続する道は通行しないという約束を、昭和56年ごろ桜丘南町内会と開発業者が交わしているが、志免町を通じて協議していきたい。



ひばりが丘の土砂崩れ

投票率の低下にどう取り組むのか。

# 次の100年に向けた 活力あるまちづくりの 実現を



黒川 悟 議員

**答** 町民の意見に耳を傾け、  
職員と力を合わせて進めて  
いきたい



塔ノ尾公園の  
イルミネーション

**問** 行政提案型共同事業の状況は。  
**答** まちづくり課長

コロナ禍により、地域活動や団体活動が停滞する中、令和3年度は、「コロナに負けんばいい元気うみ創造プロジェクト」と題し、10事業を募集、結果5事業の採択がされた。

令和4年度については、募集数20を超える団体から応募があり、今後プレゼンテーションを実施し、共働のまちづくり推進委員会にて、審査を行い、町民の皆様と共働して事業実施に努め、町に元気を取り戻したいと考えている。

**問** 子育ての町を推進するための、キッズパーク構想の再燃の考えは。  
**答** まちづくり課長

当初の提案された形での実施は考えていない。しかし、子育て世代からは、近隣市町にあるような安心して親子が集える公園設置を望む声が多い。

今後、場所や規模、財源等を含めて、第7次宇美町総合計画と整合を取り、関係各課と新たな形で検討を進める。

**問** 「宇美町中心市街地賑わいづくりに向けた提言」をもとにした今後の計画は。  
**答** まちづくり課長

この提言は、8つのプロジェクトから、とても夢のある構成となっている。しかし、全プロジェクトを実現するには莫大な費用が必要であり、実現可能なものから提言を参考にしながら今後、取り組んでいく。

一例として、宇美駅前広場の利活用で、給排水設備等を整備し、商工会で取り組んでいるイルミネーション事業やうみカフェ、JR九州ウォーキング等のイベントに合わせて、キッチンカーなどの配置ができるよう環境整備することで、にぎわいの創出に繋げることができればと思う。

加えて、宇美駅については、来年2月実証運行予定のオンデマンドバスの拠点施設としても想定しており、駅舎を含め、JR九州とも継続して協議を進めていきたい。

**問** 新執行部となり、宮崎県都農町との友好関係および宇美町人会の今後は。  
**答** 町長 都農町とは、100周年をきっかけに、蹴鞠クラブや特産品のコラボ、商工会との事業間交流も深まった。また、都農町のふるさと

応援寄附金は先進的で、学ばなければと思う。町人会は会員の皆さまが一堂に会し、ふるさと宇美を懐かしく語り合う有意義な場所であり、今後も絆を大切に、繋がりを深めていきたい。

**問** 次の100年に向けたまちづくりの決意は。  
**答** 町長 まちづくり

イコール地方自治であり、町の現状を把握し、町民の意見に耳を傾け、顕在化したニーズに布石を打つことが重要だ。山積する課題解決のためにも、職員と知恵を出し合い、率直な意見交換ができるように努めたい。

公共施設のトイレおよび学校トイレの洋式化の現状は。



安川 禎幸 議員

# 原田小学校、 宇美南中学校に係る 「小中一貫校」の提案

**答** 将来に向けて調査研究を行う

**問** 2019年に策定された宇美町公共施設再配置計画で示されたロードマップによれば「宇美南中学校は生徒数の減少により2027年に廃止を視野に検討する」となっている。公共施設再配置計画の趣旨、ロードマップの意味、計画の見直しの状況は。

**答** 管財課長

計画の趣旨は、公共施設を中長期的な視野に立ち総合的・計画的な管理を行い、将来の財政負担の軽減と平準化を図るもの。

ロードマップは、計画の行程を示すもので、宇美南中の廃止時期は2027年となっているが、基本的な方向性を示したもので廃止が確定しているものではない。

コロナ等の社会情勢や生徒数の状況を踏まえ、このまま計画を推し進めるのは適切ではないと判断しており、計画の見直しを検討している。

**問** 原田小学校、宇美南中学校の最新の生徒数の推計は。

**答** 学校教育課長

再配置計画策定時と最新のデータで比較すると、減少率は原田小学校では25%から21%へ、宇美南中学校では25%から11%へと減っており、いずれも計画策定時より減少率が縮小している。

**問** 令和3年より開始された「宇美町の教育の未来を考える懇談会」の趣旨、開催状況は。

**答** 学校教育課長

町全体の学校施設の在り方や有効活用について意見を頂く会議。

昨年12月に開催したが、以降コロナの影響でアンケート形式で行っている。今後も保護者、地域の方々より意見を聴取したい。

**問** 宇美南中学校は原田小学校の生徒がそのまま持ち上がり、コミュニ

ニティスクールで連携した活動を行っている。両校とも総合スポーツ公園や寺浦グラウンド等と隣接しており環境に恵まれている。

双方勘案して将来の人口減少の折には、原田小学校と宇美南中学校を連結して小中一貫校、あるいは義務教育学校としてはどうかという提案を行う。

**問** 小中一貫校、義務教育学校の趣旨、設置状況は。

**答** 学校教育課長

小中一貫校は小学校と中学校の連携がしっかりとったもので、それぞれに校長、教職員が在籍する。

義務教育学校は小中の9年間を通して教育を行うもので校長は一人、教職員の組織も一つとなる。県内では小中一貫校は15校、義務教育学校は5校となっている。

**問** 小中一貫校、義務教育学校についての考

えは。

**答** 学校教育課長

選択肢としては考えられる。今後、調査研究を行う。

**問** 今後の当町の学校施設の基本的な考えは。

**答** 教育長

地域のコミュニティ形成として果たしてきた学校の役割を再検討していきたい。

宇美南中学校の今後についても、保護者、地域住民、教師等できっちり協議を進めていくことが重要である。



宇美南中学校

# 新リーダーとしての町長の意見を伺いたい

**答** 5つのビジョンを掲げてまちづくりに取り組む



高橋 紳章 議員

**問** ひばりが丘2丁目付近のり面災害復旧工事の進捗状況は。

**答** 都市整備課長  
ひばりが丘2丁目町道竹ヶ下～桜ヶ丘線のり面災害は令和3年10月25日に宇美町土木組合に応急復旧工事を依頼し片側通行となる。同年11月10日から12日に国の災害査定を受け、年明けから地下水対策工事を竣工し災害復旧工事に着手。

大雨、台風等の特別な事情がない限り令和5年4月全面開通の予定。

**問** 都市計画道路志免宇美線の延長工事に伴う地域の浸水対策は。

**答** 都市整備課長  
浸水問題は、地域住民や地元自治会から早急な対策を強く求められている。

現時点で大雨が予測される場合は、早めの農業用水路のルート切り替えにより平成地区の

水路の負担を軽減するなどの対策を取っている。今後は都市計画道路

志免宇美線事業で、浸水対策は解決できないが、水路の負担を軽減する対策を福岡県と協議する。  
平成地区においては有効な浸水対策を別途検討する。

**問** 子育ての世代が安心して遊べる子ども公園の整備の考えは。

**答** 都市整備課長  
町内には大小様々な公園や広場が94ヶ所あるが、地域住民からは利用しづらい、魅力がない、利用者が少ないなどの声がある。

コロナ禍により生活様式の変化や子育て世代や高齢者の住民のニーズを反映した魅力ある公園づくりが必要である。そのためには、今ある資源を有効活用しながら魅力ある公園づくりをめざして整備していきたいと考えている。

**問** 宮崎県都農町との今後の交流は。

**答** 総務課長 都農町とは平成29年から交流が始まり5年が経過した。その発端は同じ年に町制100周年を迎えるということで町の商工会青年部を通じての交流が始まり、令和2年2月には宇美町で蹴り1グランプリが開催された。当日は、都農町の町長が来町され、友好協定の意見交換を行った。

その後は、新型コロナウイルス感染拡大等により人的交流がなかった。  
コロナ禍が落ち着けばまた両町間での具体的な話や情報交換等を行いながら関係を築き上げていく必要がある。



蹴り1グランプリ(令和2年開催)

**問** 真のリーダーとしての抱負は。

**答** 町長 私には5つのビジョンを掲げてまちづくりに取り組みたいと考えている。

宇美町は豊かな自然と貴重な歴史的文化がある。これを生かして子どもたちがふるさと宇美、生まれ育った宇美町、そのような思いを抱くまちづくり。

「子育てするならば美」玉である子どもたちを産み・育てるまちづくり。  
人生100年時代において、安心して暮らせる保健・福祉の充実。あらゆる災害に強い安心・安全なまちづくり。

道路・交通網の道路渋滞等に関する整備の対応。  
この5つのビジョンの具体化に向けてスピード感を持っていきたいと思う。

# 議 会 構 成 の 紹 介



**議長 古賀 ひろ子**

前期に引き続き、誠意を尽くし議会ワンチームとなり、町政の進展と地方自治の発展のために最善の努力をいたす所存です。



**副議長 藤木 泰**

副議長の立場で議長を支えつつ、議員の皆さんとともに協力しながら議会が円滑に進むよう、鋭意努力してまいります。

## 議 会 運 営 委 員 会

議会の運営や活動の在り方について問題点をとらえて調査研究し、より適正円滑な議会運営に資する権限があります。



副委員長 白水英至  
委員 黒川 悟  
委員長 藤木 泰  
委員 入江政行  
委員 丸山康夫

委員会の役割  
スムーズな議会の運営をめざし、委員会での運営について協議し、意見調整を図るための委員会にします。

## 議 会 選 出 組 合 議 会 議 員

- |                     |       |                   |  |
|---------------------|-------|-------------------|--|
| 北筑昇華苑組合議会議員         | ----- | 高橋 紳章             |  |
| 粕屋南部消防組合議会議員        | ----- | 古賀ひろ子・小林 孝昭       |  |
| 宇美町・志免町衛生施設組合議会議員   | ----- | 古賀ひろ子・藤木 泰・鳴海 圭矢  |  |
|                     |       | 安川 繁典・平野 龍彦・丸山 康夫 |  |
| 福岡県介護保険広域連合組合議会議員   | ----- | 安川 茂伸             |  |
| 糟屋郡篠栗町外一市五町財産組合議会議員 | ----- | 白水 英至             |  |

## 総務建設常任委員会

○総務課○財政課○会計課○税務課○危機管理課○上下水道課○都市整備課○管財課の調査・審査を行う委員会です。



委員会のつとめ  
チーム一丸となって、安全安心に暮らせるまちづくりをめざします。

副委員長 入江政行  
委員 安川繁典  
委員長 黒川 悟  
委員 丸山康夫  
委員 小林孝昭  
委員 藤木 泰

## 厚生文教常任委員会

○住民課○健康福祉課○まちづくり課○学校教育課○社会教育課○こどもみらい課○環境農林課の調査・審査を行う委員会です。



委員会のつとめ  
環境問題・教育問題・子育て支援等に全力で取り組みます。

委員 鳴海圭矢  
委員 安川禎幸  
副委員長 高橋紳章  
委員長 白水英至  
委員 平野龍彦  
委員 藤木 泰

4年間よろしくお願いします

## 議会広報常任委員会

「うみ議会だより」の原稿作成・編集・発行及び議会ホームページやSNSの管理・更新・情報発信を行う委員会です。



委員 高橋紳章  
委員 入江政行  
委員 安川禎幸  
委員 丸山康夫  
委員 小林孝昭  
副委員長 鳴海圭矢

## 住民と議会をつなぐ架け橋に

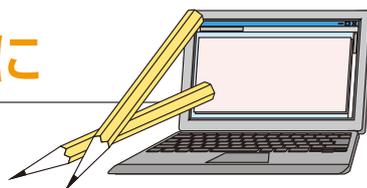
～住民の声を議会に届けよう～

私たち議会広報常任委員会は、「うみ議会だより」や「うみ議会ホームページ」を活用して、町民の声を町政に届けるとともに、町政と町民の架け橋として活動していきたいと思っています。

また、前期からの懸案事項であったWEBによる議会の動画配信やSNSによる情報発信を今期より取り組むことにしました。

「うみ議会だより」は「まずは手に取って読んでいただける議会広報」を基本理念に、さらにステップアップしていきたいと思えます。

また、町民の皆様も多くの声を議会にお届けいただきますよう、重ねてお願いいたします。



全国町村議会議長会議会広報全国コンクールでの「優秀賞受賞」という高い目標を掲げて編集会議にも熱が入っています

議会広報常任委員一同



# 議会広報 特別インタビュー

## ～新町長に期待すること～



今回のインタビューは、町民の皆様から「新町長にどんな期待を寄せているのか」をお聴きしました。

### ◆ 農業振興対策の強化を

宇美町では農業従事者の高齢化や後継者不足により、遊休農地・荒廃農地が増加しています。農地は一度耕作をやめると、数年で原形を失うほどに荒廃します。

現在、全国的に集落の農地耕作を請け負う農業機械利用組合の設立が進んでいます。町においても、同組合設立に対する支援などの農業振興対策を期待します。

原田下自治会 安河内 司さん

### ◆ カワセミも喜ぶ綺麗な宇美川の保全を

町立図書館や中央公民館から見える宇美川。

青く綺麗なカワセミも生息している宇美川へのごみの不法投棄やポイ捨てが多くなっています。

宇美町の豊かな自然を守り、施設を訪れた方々が清々しく思える環境づくりに取り組んでほしいです。

早見自治会 そば処 松本店主

### ◆ 困っている人に手厚い支援を

高齢者や母子家庭など本当に困っている人に手厚い支援がされるような宇美町を希望します。

辻荒木自治会 野上照子さん

### ◆ し～ず・うみを生涯学習の拠点施設に

昨年度、公共施設再配置計画の見直しが発表されました。今後「し～ず・うみ」の改修計画も議論されていくと思います。

今後の運営や施設管理では、利用者の声を反映させて、子どもたちはもちろん、赤ちゃんを連れてお母さんから高齢者までが利用しやすい生涯学習の拠点施設になるよう進めてほしいと願っています。



上宇美二自治会 平井晴彦さん

### ◆ 自治会の統合と再編で地域活力向上を

少子高齢化が急速に進む中、自治会活動や校区コミュニティ活動に対する関心が低下しており、役員の手が見つからないなど運営にも支障をきたしています。

今後、自治会の統合や組織再編を行い、また校区コミュニティとの連携を深め、地域の発展と向上に取り組まれることを期待します。

ひばりが丘三自治会 井上尚俊さん

### ◆ コミュニティバスの有料化を

現在運行されているハピネス号は無料ですが、宇美町の財政状況では、無料での運行を続けることは厳しいのではないのでしょうか。

有料化することで、利便性を向上させて子育て世代をはじめ、多くの町民がもっと利用しやすくなるコミュニティバスの運行で人口の増加に結び付けてほしいと願っています。

とびたけ一自治会 鶴田幸孝さん

◇発行・福岡県宇美町議会  
◇編集・議会広報常任委員会  
◇発行日・令和4年5月13日

◇印刷・松影堂印刷株式会社

〒811-2102 福岡県糟屋郡宇美町宇美5丁目1番1号  
TEL 092-934-2248 FAX 092-934-2281  
E-Mail gikai@town.umi.lg.jp

**議会からのお知らせ** **議会を傍聴しませんか!**

3月議会では、46名の方が傍聴に来られました。  
議会は年4回（3月・6月・9月・12月）に定例会が開かれます。  
役場3階の傍聴席入り口で住所・氏名を記入しご入場ください。

**次回の議会は6月3日に開会予定です。**

詳しくはこちらまでお問い合わせください  
宇美町議会事務局  
☎092-934-2248

議会だよりへのご意見・ご感想をお待ちしております。  
議会事務局のメールアドレスです  
gikai@town.umi.lg.jp

**【発行責任者】**

議長	古賀 ひろ子
<b>【議会広報常任委員会】</b>	
委員長	丸山 康夫
副委員長	鳴海 圭矢
委員	入江 政行
	高橋 紳章
	安川 禎幸
	小林 孝昭

**リニューアル!**  
新たに観えはじめました!

Gikaiaboutyou Meter  
**議会傍聴メーター**

**046**

2022年3月議会から議会傍聴に来られた人数です。

**傍聴者の声**

高齢の方の傍聴が多かったようです。もう少し若い方々にも議会を見に来てほしいですね。